

第 7 回 大阪府河川周辺地域の環境保全等審議会

「安威川ダム自然環境保全対策実行計画(案)[平成 21 年度版]」の更新方針

平成 27 年 9 月 28 日 (月)

大 阪 府

■目次

1. 実行計画（案）見直しの目的.....	1
2. 更新等が必要な主な項目.....	1
3. 更新の工程.....	5

- 「安威川ダム自然環境保全対策実行計画（案）[平成 21 年度版]」は、以下に記載した目的を理由に、平成 27 年度第 2 回審議会で [平成 27 年度版] として見直しを行う予定である。
- [平成 27 年度版]（案）の作成に先立ち、見直しの項目とその見直し方針、及び見直しスケジュールを検討した。

1. 実行計画（案）見直しの目的

「安威川ダム自然環境保全対策実行計画（案）」は、安威川ダムの建設及び管理に携わる一人一人が自然環境保全に取り組んでいくための指針として作成された。

また、実行計画（案）は、「様々な取組の成果や最新の知見、事業の進捗に応じて、適宜見直されるべきものである。」としている。

今回の見直しは、平成 21 年度より 5 年が経過し、

- ・各個別事業（工事）が進捗し、時点修正の必要がある
- ・懸念された下流域の環境の悪化に対する対策として、で検討中のフラッシュ放流とモニタリング調査の実施に関する知見が明確になってきた
- ・法面緑化について、環境水位変動域の植生とその利用方法についての方針として、新たな方針が必要となった
- ・レッドデータブックの改訂などで、新たな注目種の評価・保全対策が必要となった
- ・モニタリング等の調査結果の蓄積により、注目種の確認位置が増えている

等の経緯があり、実行計画の見直しを提案しているものである。

■ 「安威川ダム自然環境保全対策実行計画（案）」改訂経緯

改訂経緯	改訂期日	主な改訂内容
[平成 19 年度版]	平成 19 年 3 月	-
[平成 20 年度版]	平成 20 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・材料採取方法の変更 ・水質保全対策検討結果の追加 ・モニタリング工程表の追加
	平成 20 年 10 月 平成 21 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・法面緑化方法選定の方針の変更 ・ダム湖の水質保全対策の変更 ・事業実施区域や行政管理地における自然環境の保全に係る変更 ・ダム下流の河川環境の保全方針の変更 ・様々な主体の参画と流域全体を視野に入れた長期的な取り組みの変更
[平成 21 年度版]	平成 22 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・注目種の種名の記載を統一 ・注目種（カワガラス）への保全対策の変更 ・ダムの供用による影響及び保全対策の効果等を把握するため、指標種のモニタリング計画を追加

2. 更新等が必要な主な項目

1. 基本編

- 事業進捗に合わせた工程表等の更新(別表 1.1.2、1.3.1、実 p3、7-8 他)

2. 設計委託・工事発注編

- 法面緑化方法選定方針の更新(別表 3.3.2 実 p32)
 - ・「道路土工 切土工・斜面安定工指針（平成 21 年度版）（平成 21 年 6 月 日本道路協会）」の改定内容と整合性を図る必要がある。
- 個別事業の環境保全対策の更新(別表 3.3.2 実 p39~60)
 - ・個別事業の進捗状況による時点修正
 - ・施工が終了した工事については、結果を記載

3. 個別対策編

- 水位変動域の植生等環境目標に関する項目の追加(別表 2.1.2、3.3.2、実 p31、84)
 - ・現実行計画で方針が不明確な水位変動域の植生回復とその利用について追加
- 濁水処理に関する記述の更新(別表 2.1.3 実 p33~36)
 - ・現在行われている濁水処理対策について更新
- フラッシュ放流とモニタリング調査に関する項目の追加(別表 3.1 実 p63~72)
 - ・「安威川ダム環境改善放流検討部会」での検討されている、環境改善容量活用とモニタリング計画検討の進捗に合わせた追加
- 動植物の個別対策に関する記述の更新（オオサンショウウオ、ウヰ等）(別表 3.3.2 実 p73~75)
 - ・オオサンショウウオの移動経路改善について
 - ・その他の注目種において個別対策についての最新の知見を記載
- 最新の RL・RDB により抽出された「新たな注目種」の更新(別表 3.3.2 実 p73~75)
 - ・「重要種の選定カテゴリー」「保全対象種」「配慮対象種」等、環境保全のランク情報を明記。
 - ・保全対策、配慮事項について記述を更新

4. 資料編

- 注目種の確認地点、確認適期等の更新(別表 4.1.1~4.1.4 実 p92~121)
 - ・平成 17 年度までの結果に基づいた確認地点図を時点更新。
 - ・「重要種の選定カテゴリー」「保全対象種」「配慮対象種」等、環境保全のランク情報を明記。
 - ・新たな注目種の確認適期等の追加。
- その他、最新の知見による「用語集」「事例」等資料の更新(別表 4.4 実 p143~147)

■「安威川ダム自然環境保全対策実行計画(案)[平成21年度版]」見直し必要項目の抽出(1/3)

大見出し	中見出し	小見出し	見直しの必要性	見直しの方針
1.基本編	1.1 安威川ダムにおける自然環境保全対策の経緯	1.1.1 環境影響評価の実施とフォローアップ	なし	変更なし
		1.1.2 「安威川ダム自然環境保全マスタープラン」の策定	あり	第6回審議会で示した最新の工程表を基に更新
		1.1.3 安威川ダム事業予定地周辺の事業との関わり	なし	変更なし
	1.2 安威川ダム自然環境保全マスタープランの概要	1.2.1 安威川ダム自然環境保全へ向けての基本的な考え方	なし	変更なし
		1.2.2 安威川ダムの自然環境保全へ向けての基本目標と実施方針	なし	変更なし
	1.3 自然環境保全対策の考え方	1.3.1 自然環境保全対策の実施主体と対象とする場所	あり	事業の「実施段階」としての環境保全対策の考え方に書き換える。「様々な主体の参画」について、現時点での実施状況、計画等の確認を行う。
		1.3.2 事業の進捗に応じた環境影響の最小化	あり	第6回審議会で示した事業の進捗をH27年度の状況に見直し更新
		1.3.3 自然環境保全対策のモニタリングと順応的管理	なし	変更なし
		1.3.4 動植物生息環境の成り立ちと留意点	なし	変更なし
		1.3.5 動植物保全対策検討の必要性	なし	変更なし
	1.4 安威川ダム周辺の自然環境の特性と保全にあたっての課題	1.4.1 安威川ダム周辺の自然環境	あり	H21以降の調査結果を含め、掲載種の見直しを行う。
		1.4.2 安威川ダム周辺の自然環境保全対策検討にあたっての留意点	なし	変更なし
	1.5 自然環境保全対策実行計画(案)の運用	1.5.1 自然環境保全対策の実施体制	なし	変更なし
		1.5.2 自然環境保全対策の実施	あり	事務所内組織(「環境対策審査会」「環境管理連絡会」)の状況確認し、名称等を更新
		1.5.3 自然環境保全対策実行計画(案)の更新	なし	変更なし
		1.5.4 安威川ダム自然環境保全対策検討委員会による助言	あり	「1.5.2 自然環境保全対策の実施」同様

注) 赤字：修正する項目 緑字：修正を検討する項目

■「安威川ダム自然環境保全対策実行計画(案)[平成21年度版]」見直し必要項目の抽出(2/3)

大見出し	中見出し	小見出し	見直しの必要性	見直しの方針	
2. 設計委託・工事発注編	2.1 設計委託・工事発注にあたっての基本的な方針	2.1.1 自然環境保全対策の基本事項	なし	変更なし	
		2.1.2 法面緑化方法選定の方針	あり	第6回審議会資料で示した「カエルドグリーン工法」について記述する。詳細は本編 3.3.2 環境保全対策に記述する。また、今年度業務で策定する「水位変動域の植生等環境目標の検討」について、新たに「(4)水位変動域の植生回復及び利用に関する基本方針」の項を設け、H27 年度の検討結果を反映させる。	
		2.1.3 濁水処理手法	変更の必要性に 応じ対応	新たに「(3)実施中の汚濁処理対策の具体例」の項を設け、工事JVの取り組みを記載	
	2.2 個別事業の環境保全対策 (主な対象:委託発注 G)	2.2.1 材料を採取する民間採石場における環境配慮事項	なし	変更なし	
		2.2.1 ~2.2.9	あり	第6回審議会で示した H26 末時点の状況に更新(実際に行っている緑化や濁水抑制(採石業者への指導も含む)の内容を発注者(JV等)に聞き取り、整理、更新)。	
	2.3 工事着手前の注目種確認調査(主な対象:企画 G)	2.3.1 工事着手前の注目種確認調査計画の立案	あり	「安威川ダム自然環境保全対策検討委員会」を「大阪府河川周辺地域の環境保全等審議会」に変更する。	
	2.4 工事施工段階における環境管理(主な対象:工事発注 G)		なし	変更なし	
	3. 個別対策編	3.1 ダムの完成及び管理運用開始にあたってのモニタリング	3.1.1 想定される留意点	あり	第6回審議会資料-2 を参考にフラッシュ放流及びそのモニタリングの考え方を反映させる。
3.1.2 モニタリング計画(自然環境保全の短期計画)			あり	第6回審議会資料-2、資料-4 を参考に更新	
3.1.3 ダムの管理運用に係るフォローアップ計画			あり	第6回審議会に示した工程表を参考に、モニタリング計画を更新する。	
3.2 ダム湖の水質保全対策		3.2.1 想定される留意点	今後対応	運用計画見直し後、水質シミュレーションを更新し、反映させる	
		3.2.2 環境保全目標(案)	今後対応	運用計画見直し後、水質シミュレーションを更新し、反映させる	
		3.2.3 環境保全対策の方針	今後対応	運用計画見直し後、水質シミュレーションを更新し、反映させる	
3.3 事業区域や行政管理地における自然環境の保全		3.3.1 想定される課題	要協議	構成変更について発注者との協議により整理する	
		3.3.2 環境保全対策	あり	(1)動植物にかかる個別対策の内容更新 第6回審議会資料-4p5~p6 を参考にオオムラサキ、ヘイケボタル、ムギツク、カマツカの追記、知事意見選定種等の見直し、オオサンショウウオ対策、コウモリへの配慮を含めた管理方針について H27 での取り組み反映させる。 (2) 1)ピオトープ整備の実施内容更新 第6回審議会に示したピオトープの現況を、H27 のJVの調査結果で更新する。また H27 年度に検討する「ピオトープの目標設定」について記述する。 (2) 2)工事着手前の希少動植物の移植について、表 3.3-2 の内容更新 環境省レッドのランク、最終確認年の更新、移植適期の見直しを行い更新する。 (2) 3)法面緑化の回復の内容更新 第6回審議会に示した工事JV提案の「カエルドグリーン工法」の試験施工について記載する。。また、今年度業務で策定する「水位変動域の植生等環境目標の検討」を反映させる。 (2) 4)表 3.3-3、図 3.3-3 の更新 表の記載種について平成26年度末時点の最新データを反映。図について今年度検討結果を踏まえて更新。	
			3.3.3 ダム下流の河川環境の保全方針	あり	フラッシュ放流計画検討の内容を反映させる。

注) 赤字：修正する項目 緑字：修正を検討する項目

■「安威川ダム自然環境保全対策実行計画(案)[平成21年度版]」見直し必要項目の抽出(3/3)

大見出し	中見出し	小見出し	見直しの必要性	見直しの方針
(つづき)	3.4 様々な主体の参画と流域全体を視野に入れた長期的な取り組み	3.4.1 活動の場となる基盤づくり	なし	変更なし
		3.4.2 地域整備を高めるための取り組み	なし	変更なし
		3.4.3 継続的な地域マネジメントのための取り組み	なし	変更なし
4. 資料編	4.1 安威川ダム自然環境データベース	4.1.1 動植物調査結果の概要	あり	平成26年度時点の結果を反映
		4.1.2 注目種確認地点	あり	平成26年度末時点の結果データにて更新(GIS属性データに「重要種の選定カテゴリー」「保全対象種」「配慮対象種」等、環境保全のランク情報を追記)する。
		4.1.3 注目種の確認適期	あり	平成26年度末時点で新たに確認・選定された重要種の情報を追記、注目種選定基準の更新(削除される種が発生する可能性に留意)
		4.1.4 水質調査結果概要	あり	更新データ確認し、資料に反映させる。
	4.2 安威川ダム事業における自然環境保全対策実施状況		要協議	協議の上、必要に応じて更新する。
	4.3 用語解説集	4.3.1 生息環境に係る用語	変更の必要性に 応じ対応	資料更新に伴う用語の追加を確認し、必要に応じて更新
		4.3.2 ダム事業による影響に係る用語	変更の必要性に 応じ対応	資料更新に伴う用語の追加を確認し、必要に応じて更新
		4.3.3 自然環境保全対策に係る用語	変更の必要性に 応じ対応	資料更新に伴う用語の追加を確認し、必要に応じて更新
		4.3.4 人の営み・文化に係る用語	変更の必要性に 応じ対応	資料更新に伴う用語の追加を確認し、必要に応じて更新
	4.4 付属資料	付属資料-1 安威川ダム建設事務所環境管理方針	変更の必要性に 応じ対応	資料の更新状況を発注者に確認し、必要に応じ修正
		付属資料-2 安威川ダム建設事務所環境管理連絡会・環境管理計画等様式	変更の必要性に 応じ対応	資料の更新状況を発注者に確認し、必要に応じ修正
		付属資料-3 環境対策審査会(仮称)チェックシート様式	変更の必要性に 応じ対応	資料の更新状況を発注者に確認し、必要に応じ修正

注) 赤字：修正する項目 緑字：修正を検討する項目

3. 更新の工程

項目	平成 27 年				平成 28 年	
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
見直し		■				■
各委員への意見聴取				■		
審議会		第 7 回審議会 ★ 9/28				第 8 回審議会 (予定) ★ 2/4